

→ 前ページより

最後に波を描きます。ここでは、パステルのエッジの部分を使って、波の質感をギザギザに描いて出していきます。そして、質感を損なわない程度に少しだけ指でこすります。波の下には、波の影ができるはずなので、お忘れなく。水しぶきは、描かれたパステルを指先で弾き飛ばしてみてください。激しく舞う水しぶきを表現することができます。



完成です。なんと所要時間はたったの約30分でした！

仕上げ

パステル画は、パステルが定着しづらいため、最後に以下の工程が必要となります。



完成した絵に余分なパステルが付いているので、叩き落とします。



紙にパステルを定着させるため、グラシン紙などに絵を押し付け、背面から擦り付けます。フィキサチーフ(定着液)を吹きかけて定着させることも可能です。また、使用したグラシン紙に包めば、持ち運びが簡単になります。

Cindy先生からのアドバイス



「初心者には自信を付け、上級者には技術やモノの見方を養えるようなアート教室を開いています。その際に、リラックスしながら、楽しく絵が描けるような環境作りを心掛けています。私自身、パースの自然が大好きで、風景画はその自然を描くことができるので、とっても魅力的です。中でもパステル画は、とても簡単に始められるので、初心者の方に特にオススメします！」

Cindy先生からの
シンプルテクニック

こんなことに注意すると上手に描ける!

○ **光源はどこ?** ○ 光の源、つまり屋外ならば太陽がどこにあるかを常に確認してください。その位置によってものに映し出される明暗が違ってきます。

○ **陰影を意識** ○ ものの陰影も光源の位置によって異なります。例えば、真上にあれば陰影は短く、斜めから差し込めば長くなります。

○ **よく観察** ○ スケッチする景色や対象物をよく観察してください。明暗、陰影、濃淡が見えてくるはずですよ。

○ **画用紙を3分割** ○ 画用紙を横に3分割にしてみてください。そこで、風景画を描く場合は、空を上1/3、その他の2/3に海やビーチを描くようにしてみましょう。バランスの取れた絵になるはずですよ。